

後藤寿庵福原就封 400 年記念事業

後藤寿庵福原就封 400 年記念事業
実行委員会（会長 小沢昌記市長）で
は、後藤寿庵の功績を顕彰する事業
を次のとおり実施します。趣旨に
賛同する市民の皆さんであれば、ど
なたでも参加できます。

◆【企画展】寿庵の足跡と胆沢 扇状地の水文化

- 場所 メイプル 4 階展示場
- 日時 9 月 8 日（ 日 ）～ 14 日（ 日 ）
- 内容 後藤寿庵の人となり、胆沢
平野の水との関わりを紹介
- 入場料 無料

◆寿庵就封 400 年記念式典

- 日時 9 月 11 日（ 日 ）午後 1 時
- 場所 寿庵廟（水沢区福原地区内）
- 内容 寿庵の功績を顕彰

◆記念講演

- 日時 9 月 11 日（ 日 ）午後 3 時
- 場所 市文化会館（Z ホール）
- 講師 カトリック高松教区司教
溝部脩 氏
- 演題 後藤寿庵とパチカン

◆後藤寿庵の市民劇

平成 24 年に後藤寿庵の生涯を題材
とした市民劇を Z ホールで公演
します。スタッフとキャストを広く
市民から募集しています。詳細
が決まりしだいお知らせします。

※共通事項 ■問い合わせ＝後藤寿
庵福原就封 400 年記念事業実行委
員会事務局（水沢南公民館 ☎ 7990）



寿安堰は北側に流れる低い胆沢川から、南側の丘陵状に高くなる方向へ水を引いている。寿庵の土木技術の高さがうかがえる



後藤寿庵福原就封 400 年
記念事業実行委員会
事務局長 高橋 栄蔵 さん



胆沢平野土地改良区
理事長 及川 正和 さん

現在の胆沢扇状地の豊かな農地があるのは寿安堰のおかげです。寿庵の残した功績に、思想を超えて感謝しなければなりません。子々孫々の代まで継承していくことが私たちの責務だと考えます。記念事業を通じて市民の皆さんに寿庵の残した足跡を知ってもらいたいです。

寿庵は、胆沢平野に暮らす全ての扇状地に、「命」としての食料である米作りを定着させ、「経済活動」として農民とそれ以外の人々との物流を図り、「環境」としての美しい癒しの景観である田園風景を創り出しました。まさに「無償の人間愛」を持って「耕土命水」をもたらした偉人です。

胆沢川の急流から荒野に水路を開削し、命の水を引き、乾いた大地を豊かに蘇らせた寿庵。多くの命を養ってきた寿安堰。農耕文化や農村風景、散居集落、水沢の商人文化にまで発展しました。後藤寿庵という人物がいなければ、現在の私たちの生活基盤が無いといっても過言ではないでしょう。

「胆沢平野開拓の祖」である後藤寿庵の功績は、私たち奥州市民の遺産です。今後語り継ぎ顕彰していくことが大切です。

※本文中の人名は「寿庵」、水路を「寿安」と表記しています



①水沢区川端にあるカトリック水沢教会に建つ後藤寿庵像。昭和 28 年に除幕された ②胆沢区若柳の徳水園にある国内最大級の円筒分水工。胆沢扇状地の約 10000 畧の水田へ水を供給する ③毎年、春と秋に寿庵廟で開催される寿庵祭には、多くの人が寿庵の功績を讃えて参列する



「水陸万頃^{すいりくばんけい}の地に寿安堰を開削^{くわいせう}」

胆沢扇状地は「水陸万頃^{すいりくばんけい}」と、続日本紀^{しよくにほんぎ}にも記されているほど、肥沃な土地でした。しかし、寿庵に与えられた領地は、「アラビアの砂漠の如し」と宣教師が例えるほど荒廃していました。荒廃した領地を、緑の大地にするため寿安堰の開削に取り掛かったのは、元和 4 年（1618 年）のこと。私財を投じて始めた寿庵のかんがい事業。4 年もの時間をかけて、胆沢川^{いづみがわ}の金入道^{きんにりち}（胆沢区若柳字堰袋^{わがやうづき}）から大連^{だいれん}（胆沢区若柳字土橋^{わがやうづき}）まで、約 1700 畧の水路を完工させたのです。取水口ある低地の胆沢川から丘陵へ水を引くという難工事でした。

徳川幕府によるクリスタン弾圧が強まり、寿庵は志し半ばでこの地を後に。その後、意思を継いだ古城村^{きよしろむら}の千田左馬^{ちまたさ}、前沢村^{まへさわむら}の遠藤大学^{とんどうだいがく}（共に前沢区）が寿安堰の原型を完工させました。

寿安堰の取水口は茂井羅堰^{しげいらぎ}の上流に設けられ、自然取水の方式が取られました。新しい

水系の寿安堰は、以前からある茂井羅堰水系の了解無くして、胆沢川を締め切ることには許されなかったのです。このため渇水の度に、激しい水争いを繰り返し、その解決には 300 年以上の長い年月を要しました。

【現在に引き継ぐ寿庵の功績】

昭和 32 年に寿安堰と茂井羅堰の取水口を統合し、円筒分水工が完成しました。その配水により、ようやく水争いが解消したのです。日本最大級の円筒分水工として胆沢平野の農業水利のシンボルになっています。平成 25 年に完成予定の胆沢ダムにより、更なる農業水利の安定供給が期待されます。

胆沢扇状地に広がる水田は約 1 万畧。そのうち、寿安堰では約半分にあたる、4800 畧の水を供給する役割を担っています。

胆沢扇状地は、米の食味で特 A 評価を受け続けている「ひとめぼれ」に代表される、全国的な銘柄米を生産する穀倉地帯です。